

教育講演会(PTA研修部・宮前地区子どもを育てる会共催)実施！ 保護者・地域の方々・教員、合計31名が学びました。

本校3年生が4月に実施した全国学力・学習到達度調査の結果、携帯電話やスマートフォンを平日に2時間以上使用している生徒の割合が57.1%(全国平均32.7%)、また、その所有率も89.8%(全国平均76.5%)と非常に高いという実態があります。そして、スマホのアプリであるLineでのやりとりを発端とした様々な問題も多発しています。

そこで、11月19日(水)、午後7時30分から本校体育館2階で、保護者・地域の方々対象に、講師として和歌山大学教育学部准教授の豊田充崇先生を招いて、「ネット社会の子育てと安全～私たち大人ができること～」をテーマに講演会を実施していただきました。



豊田先生の講演から

「スマートフォンの光と影 ネット上で子ども達が被害者にも加害者にもならないために」

- ・最終的に全員がスマホを所有するという前提で私たち大人が対応を進める必要があること。
- ・ネット利用のリスク認識を見直し、子ども達に伝える責任があること。

- ・その情報は「あなたの痕跡」として「未来永劫(みらいえいごう)」ネット上に残していいのか？
- ・その情報の送信 自分はよくても他人が困る 「投稿は一瞬。後悔は一生」
- ・「ネット上での出会いはハイリスク」、「ひみつの写真」が「あだ」になる。
- ・「ネット依存症」は自覚させることが難しい。
お金・時間・人間関係・生活習慣などすべてを浪費する。
- ・「これくらい。冗談のつもりだったのに…」が、社会的制裁を受ける羽目になる。

・未然にトラブルを防ぐための活用する情報モラル教材(アプリ・映像・パンフレット)の紹介。

- ・「ネット社会の歩き方」(PC版、iPad、アンドロイド版)
- ・「スマホに潜む危険・疑似体験」(iPad、iPhone、アンドロイド版)

これは、ぜひ体験してほしいアプリ(無料)とのことです。

- ・「NMB48と学ぶネットトラブル」:<http://www.nethigai.jp>
- ・文部科学省(YouTube MEXTCHANNEL)「文部科学省 情報社会 動画」で検索
最新のネットトラブル再現映像が多数

